

みどりの丘

文責 二本松市立新殿小学校長 高松宏光

「授業参観」ありがとうございました

授業参観、ありがとうございました。新しい担任のもと、新たな二つの学年で編成された学級での子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。保護者のみなさまの姿をみつけて喜び姿もあれば、ちょっと緊張気味の表情の子どもも見受けられました。

本校のような少人数の学校では、入学から卒業までの間に、子どもたち同士で密な関係を築くことができます。お互いのことをよく理解し、他学年の子とも仲良くなり、家族的で温かな関係をつくることができます。

一方で、それぞれにお互いのことをよく知っているがために、子どもたちの間で「算数が得意なのは〇〇さん」「運動が得意なのは〇〇さん」「発表が得意なのは〇〇さん」・・・といったように、イメージが固定してしまいがちです。しかし、学校は、それぞれのお子さんのよさを引き出し、伸ばしていく場です。子どもたちのもっているイメージが変化するように、個々の個性や特徴を踏まえつつ、ちょっと苦手としている場面にもチャレンジさせ、認め、力を伸ばしていきます。また、将来を見据え、様々な方と交わるコミュニケーション能力を高めていく必要もあります。保護者のみなさまや地域の方々力も借りて、子どもたちの自己肯定感を大切にしながら、計画的に、じっくり力を伸ばしていきたいと思っております。



4つの《車》にお世話にならないように

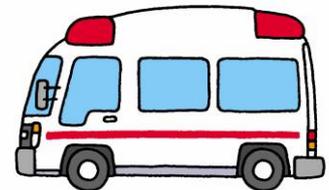
大型連休に入りました。3日(水)から7日(日)まで5連休となります。ご家族でどこかに出かける予定のあるご家庭も多いのではないのでしょうか。

以前、私が子どもたちの安全指導を行う生徒指導を担当していた時、大型連休前や夏休みの前などに決まって全校生に話していた内容があります。それは「4つの《車》にお世話にならないように！」という話です。

4つの車とは「赤い車」「白い車」「白と黒の車」「(特徴のない)普通の車」です。「赤」「白」「白と黒」の車は独特のサイレンが流れます…。

もうお分かりですね。「消防車」「救急車」「パトカー」です。それでは、最後の「(特徴のない)普通の車」とはなんでしょう…。それは、「不審車」です。こちらから「〇〇しないように。」「□□には気をつけて。」とは指導せず、「どんなことをしたら、救急車にお世話になってしまうでしょう?」と投げかけます。子どもたちは考え、「怪我」「病気」「事故」…。と答えてくれます。「では、どんなことをしたら事故にあうでしょう?」などと更に問いかけていきます。こうすることで、子どもたちは「聞く」という受け身から「考える」という能動的な動きに変わり、より心に残っていきます。

学校では、大型連休にあたり、子どもたちの安全を守るための【連休中の過ごし方について】というプリントを準備し、指導を行いました。ぜひ、ご家庭でもご一読いただき、お子さんに考えさせてみてください。



三匹獅子舞の素晴らしさ！



4月29日(土)に、杉沢愛宕神社で三匹獅子舞が奉納されました。以前勤めていた学校の地域でも、三匹獅子舞を行っていたところがあり、こちらはどんな舞なのかと、楽しみに出かけていきました。

予定時刻の午後2時ちょっと前に神社に到着すると、保護者のみなさまや応援の子どもたち、地域の方々、今回の行事を支えてくださっている関係者のみなさまが集まっていました。愛宕神社は、道路から脇にそれた急な坂道を上った先があり、そこで子どもたちの到着を待つことにしました。

しばらくすると、笛の音が聞こえてきました。子どもたちの到着です。今回は5、6年生の三人が獅子となり、2、4年生の二人がササラ持ちの役割として参加しました。

いよいよ舞が始まりました。笛や太鼓の囃子にあわせ、様々な踊りを披露していきました。その時間、なんと1時間を優に超えていました。長時間の舞を最後までがんばり続ける三人、時折強いが吹く中、必死にササラを支え続ける二人の姿に感激・感動しました。最後の舞が始まる前、獅子を演じる一人の子が「最後だからがんばろう!」とみんなを鼓舞する声かけをしました。素晴らしい一言でした!



今回の行事には、様々な方のサポートがありました。伝統を継承し、子どもたちを指導して下さった方々、お囃子担当として自らも練習に励まれた方々、そして子どもたちを支え続けた保護者のみなさま…。たくさんの方々のおかげで、子どもたちは大きな成長を遂げることができました。感謝申し上げます!